

# 博士学位論文 審査結果の要旨

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 博士（後期）課程  
博士学位論文審査委員会

主 査 古屋 繁

審査委員 吉武 良治

審査委員 山澤 浩司

審査委員 大倉 典子

審査委員 亀岡 弘之

\*審査委員

氏 名	滝沢 正仁
論文題目	ドライバの適切な対応に寄与する交通情報の提供方法 - 高速道路上の情報板シンボルのあり方 -
〔論文審査の要旨〕 高速道路で発生する多様な交通事象（気象・路面・交通・自然災害）に対し、事故の連鎖などを生まないため、ドライバーが適切に対応することが求められている。本研究は、この対応が適切に行えるための情報提供について情報板に表示されるシンボルのデザイン上の問題を解決し、デザイン指針を得るとともに、その成果の実証的な検証を行った。 この研究では、デザイナーの経験に依存してきたデザインプロセスに、情報の発信者（道路管理者）とドライバーの事象に対する意味（事象と対応）理解のギャップを明確にし、ドライバーの持っている知識の構造（階層的な知識の繋がり）から表現への手がかりを得るステップを加えるための知見を得たことと、これまで、情報板のデザインの評価方法を新たに確立したことは、特筆すべき成果である。 なお、公聴会・本審査は、7月14日(土)15時より、芝浦キャンパスで行われた。出席者は、上記審査員の他、20余名で、約1時間の発表と1時間の質疑を行った。 公聴会の質疑では、会場から、記号論的観点からの成果の評価や意味理解のギャップの克服方法、道路環境のその他の情報提供への展開の可能性についてなどについて、また審査員からは実験条件の適正さや、外国人に対する対応への言及、併用される文字情報との関係についてなどの質問があり、適切に回答できたと判断した。 また、その後、以下の指摘と指導教員が責任を持って対応することで了承を得た上で、投票の結果、全員一致で「合格」とした。 ・論文、発表の中での記述の不備についての指摘があったが、軽微であり、加筆修正する。 ・予備審でも指摘があった外形上「考察」の記載がないことについては、実際に記述された考察の部分を「考察」の章として明記するよう論文を訂正する。	